

平成27年3月期 第2四半期

# 決算説明会

平成26年11月14日

戸田建設株式会社

**本資料には、当社及び当社グループの将来についての計画、戦略、業績の予測に関する記述が含まれています。**

**これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が予測したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。**

**そのため、様々な要因の変化により、実際の業績または展開は、記述されているものと異なる可能性があることをご承知おきください。**

# 本日の内容

---

## 1. 決算説明

- 管理本部長 鞠谷 祐士

## 2. 経営計画の進捗状況

- 代表取締役社長 今井 雅則

# 1. 決算説明

---

管理本部長 鞠谷 祐士

# 1-1. 決算概要

---

# 決算のポイント

## ■ 連結売上高 1,878億円 (前期比▲9.8%)

： 当社及び海外子会社における完成工事高が減少したことにより、前期比9.8%減少の1,878億円となった。

## ■ 営業利益 68億円 (前期比+15.5%)

： 販売費及び一般管理費が増加したものの、採算重視の受注方針の徹底等による完成工事総利益の向上が寄与し、営業利益は前期比15.5%増加の68億円となった。

## ■ 建設受注高 (個別) 2,209億円 (前期比▲30.4%)

： 土木では官庁の道路受注が増加したものの、建築では前期に大型工事を受注した影響が大きく、建設受注高は前期比▲30.4%減少の2,209億円となった。

# 決算概要

単位：億円	26/3期 第2四半期	27/3期 第2四半期			
		8/7 予測	実績	前期比	予測との差異
連結売上高	2,083	1,990	1,878	▲9.8%	▲111
営業利益	58	41	68	15.5%	27
経常利益	66	49	76	14.9%	27
当期純利益	111	53	79	▲28.4%	26
建設受注高 (個別)	3,176	1,750	2,209	▲30.4%	459

# 主な受注工事

	発注者	工事名
建築	北里研究所	北里研究所白金キャンパス薬学部校舎・北里本館建替
	愛知県	愛知総合工科高等学校
	糀谷駅前地区市街地再開発組合	糀谷駅前市街地再開発事業
	高崎市	新体育館
土木	健生会	立川相互病院
	中日本高速道路	東京外かく環状道路 本線トンネル
	東日本高速道路	上信越自動車道 天神堂トンネル
	西日本高速道路 東北地方整備局	新名神高速道路 箕面インターチェンジ 国道45号 両石地区



# 主な完成工事

	発注者	工事名
建築	日本郵便	大宮桜木町一丁目計画
	大妻学院	千代田校舎建替計画
	FCHパートナーズ	福岡市民病院（こども病院）
	秋葉原ラジオ会館	秋葉原ラジオ会館新築
	市街地再開発組合	一番町二丁目四番地区再開発
土木	中日本高速道路	第二東名 額田トンネル他 1
	東京都水道局	朝霞浄水場高度浄水施設二期
	西日本高速道路	四国横断自動車道 徳島インターチェンジ
	仙台市交通局	仙台市高速鉄道東西線連坊工区

# 1-2. 決算詳細説明

---

# 【連結】グループの状況

事業		国内子会社	海外子会社	14社
建設	建築	<p>(株)アペックエンジニアリング</p> <p>千代田建工(株)</p>	<p>ブラジル戸田建設(株)</p> <p>戸田建設工程(上海)有限公司</p> <p>タイ戸田建設(株)</p> <p>ベトナム戸田建設(有)</p> <p>戸田フィリピン(株)      ABTD(株)</p>	8社
	土木	<p>戸田道路(株)</p>		1社
不動産		<p>戸田ビルパートナーズ(株)</p>	<p>アメリカ戸田建設(株)</p>	2社
その他		<p>戸田ファイナンス(株)</p> <p>千代田スタッフサービス(株)</p> <p>東和観光開発(株)</p>		3社

# 【連結】グループ業績概況

26/9 単位：億円	戸田建設		子会社計		連結		連単 倍率
		%		%		%	
売上高	1,725		227		1,878		1.09
売上総利益	156	9.1	21	9.5	176	9.4	1.13
一般管理費	93		14		108		
営業利益	62	3.6	7	3.3	68	3.6	1.09
営業外収支	7		1		8		
経常利益	69	4.0	9	4.0	76	4.1	1.10
特別損益	1		▲2		8		
税引前当期純利益	71		7		85		
法人税等	0		2		5		
当期純利益	70	4.1	4	1.9	79	4.2	1.13

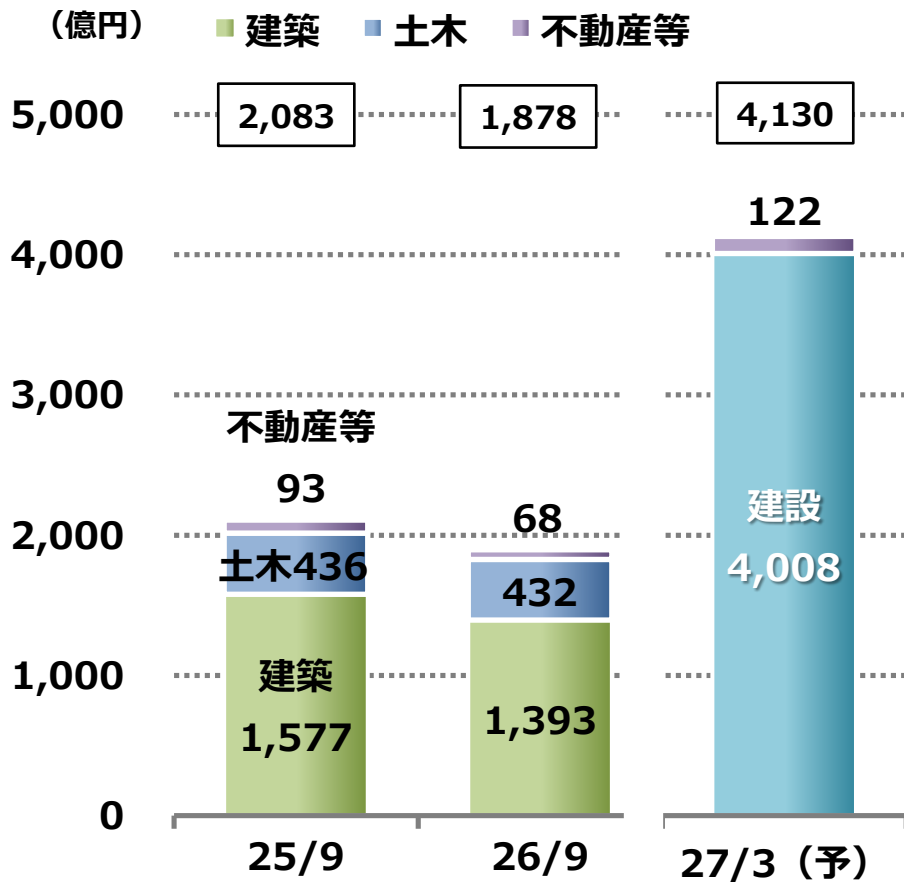
# 【連結】連結損益計算書

単位：億円	25/9 (実績)		26/9 (実績)		増減率 %	27/3 (予測)	
		%		%			%
売上高	2,083		1,878		▲9.8	4,130	
売上総利益	156	7.5	176	9.4	12.7	323	7.8
一般管理費	97		108			236	
営業利益	58	2.8	68	3.6	15.5	87	2.1
営業外収支	7		8			16	
経常利益	66	3.2	76	4.1	14.9	103	2.5
特別損益	46		8			6	
税引前当期純利益	112		85			109	
法人税等	1		5			4	
当期純利益	111	5.3	79	4.2	▲28.4	105	2.5

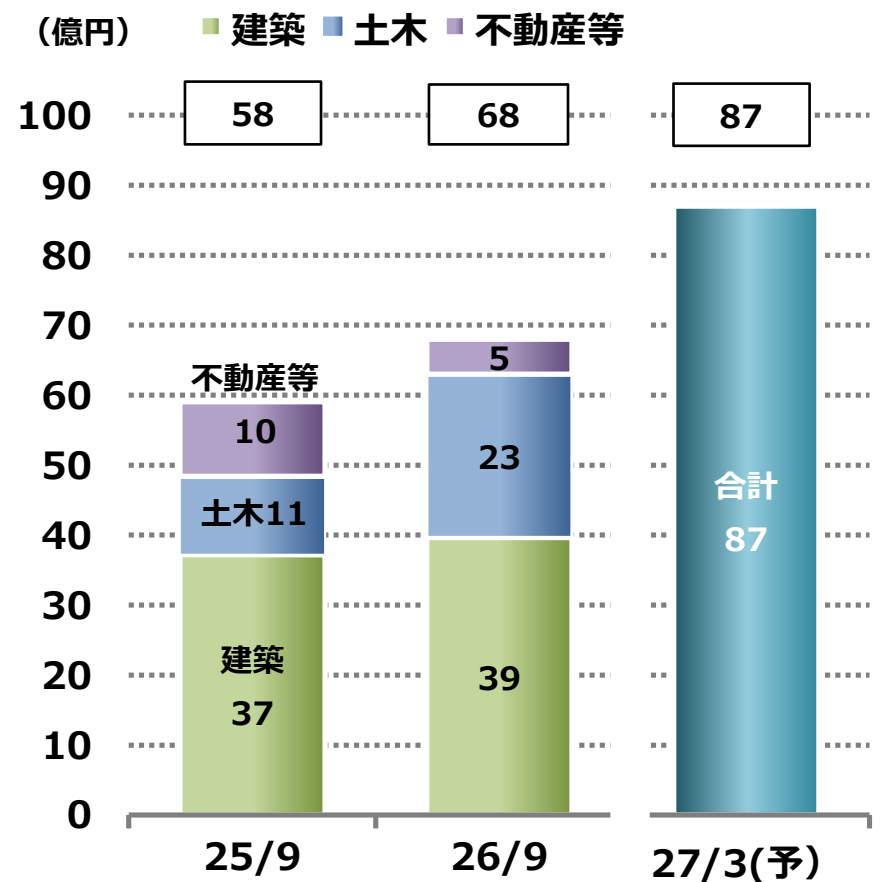
※27/3期予測は、今回決算修正値

# 【連結】セグメント別 売上高・利益

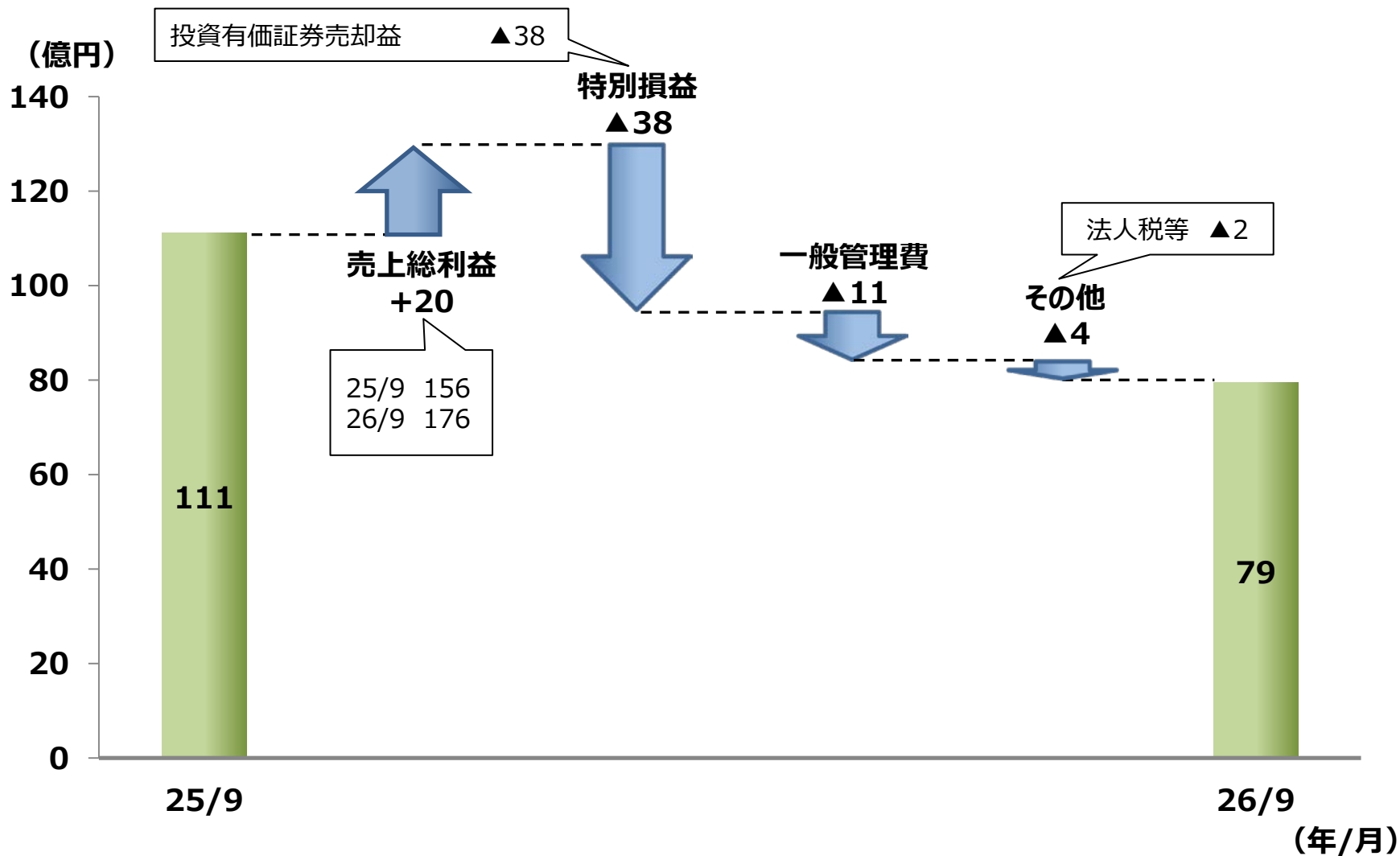
## 売上高



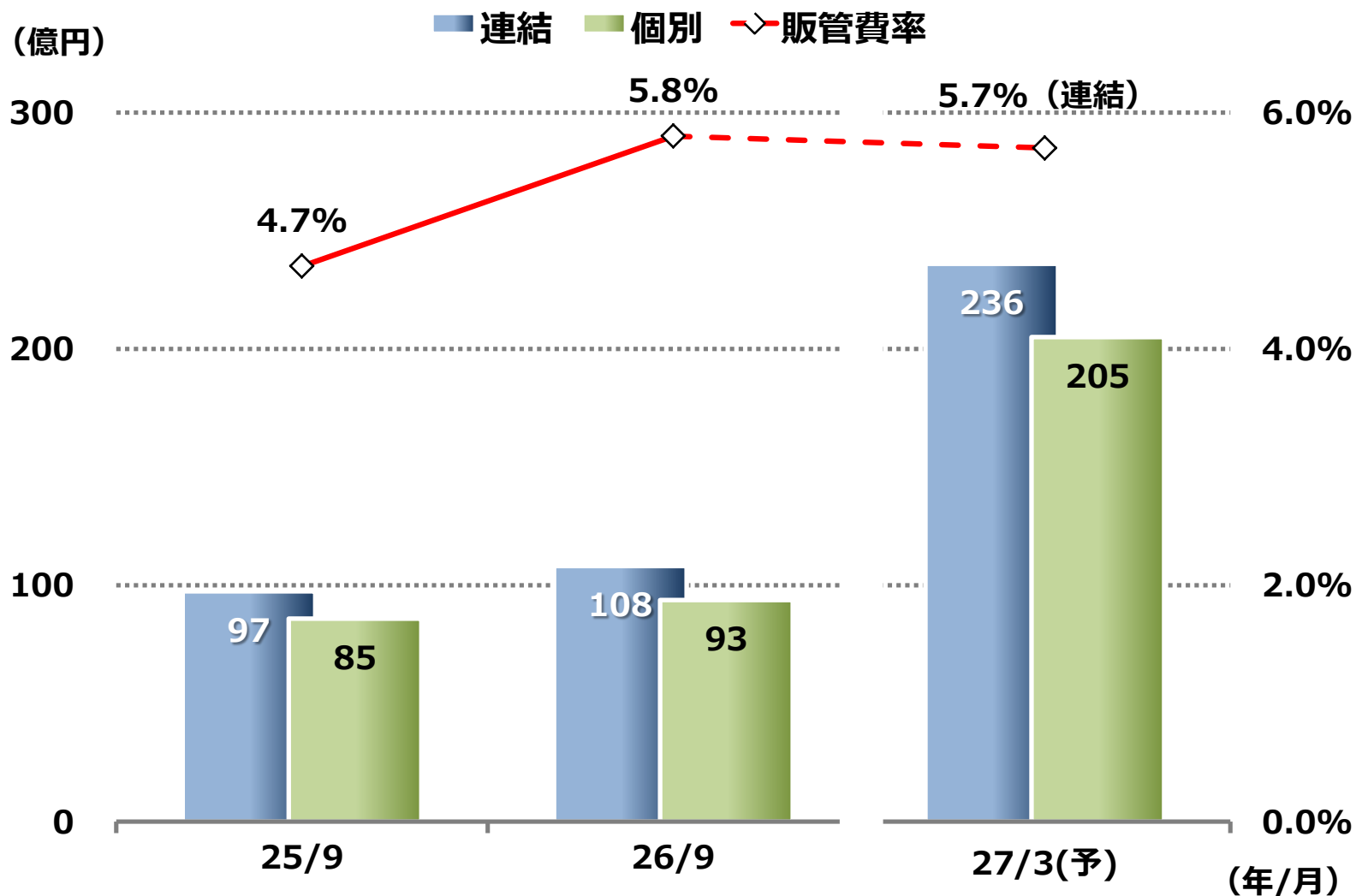
## 利益



# 【連結】当期純利益の変動内訳



# 【連結】販管費の推移

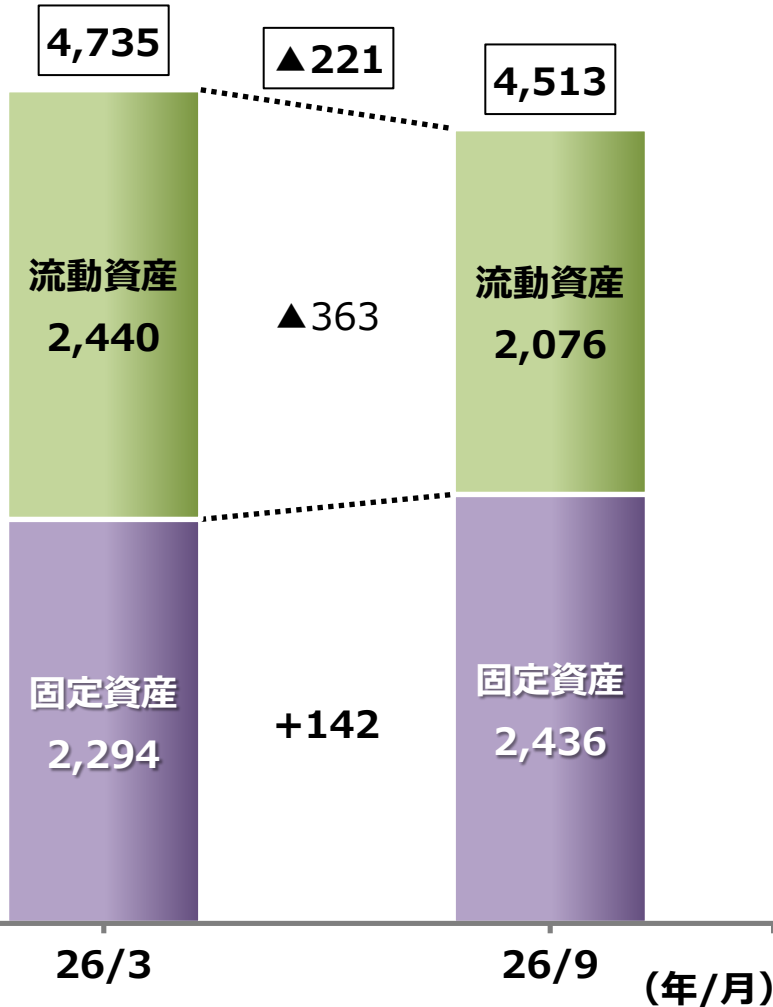




# 【連結】連結貸借対照表

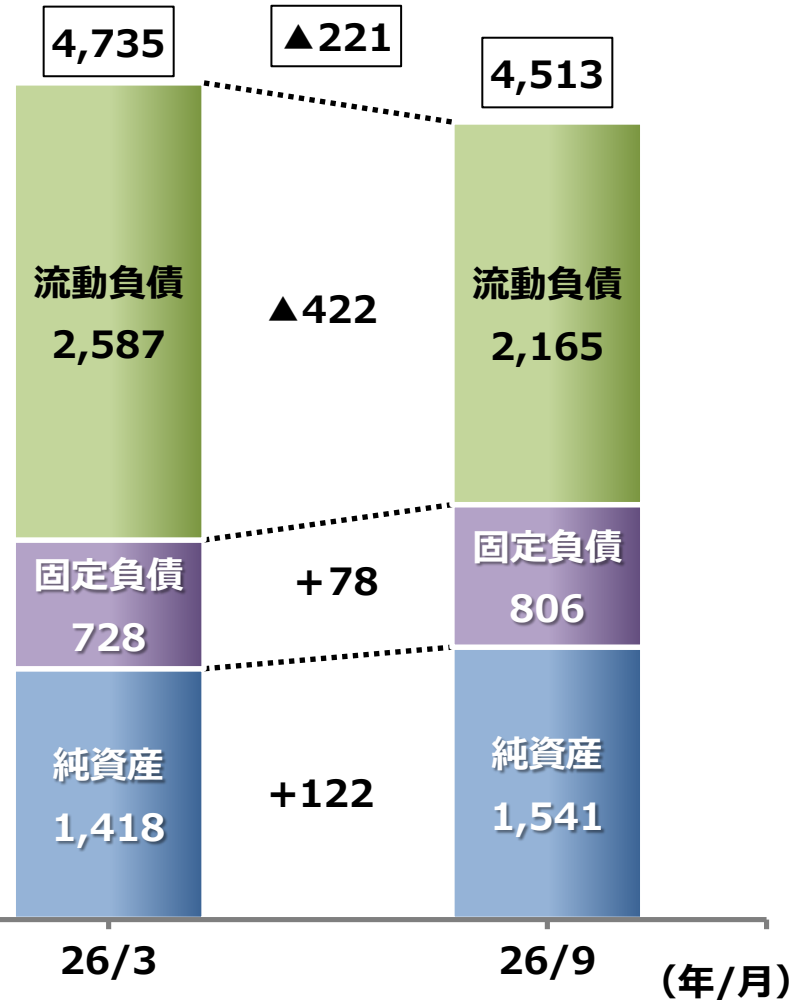
## 資産の部

(億円)



## 負債・純資産の部

(億円)

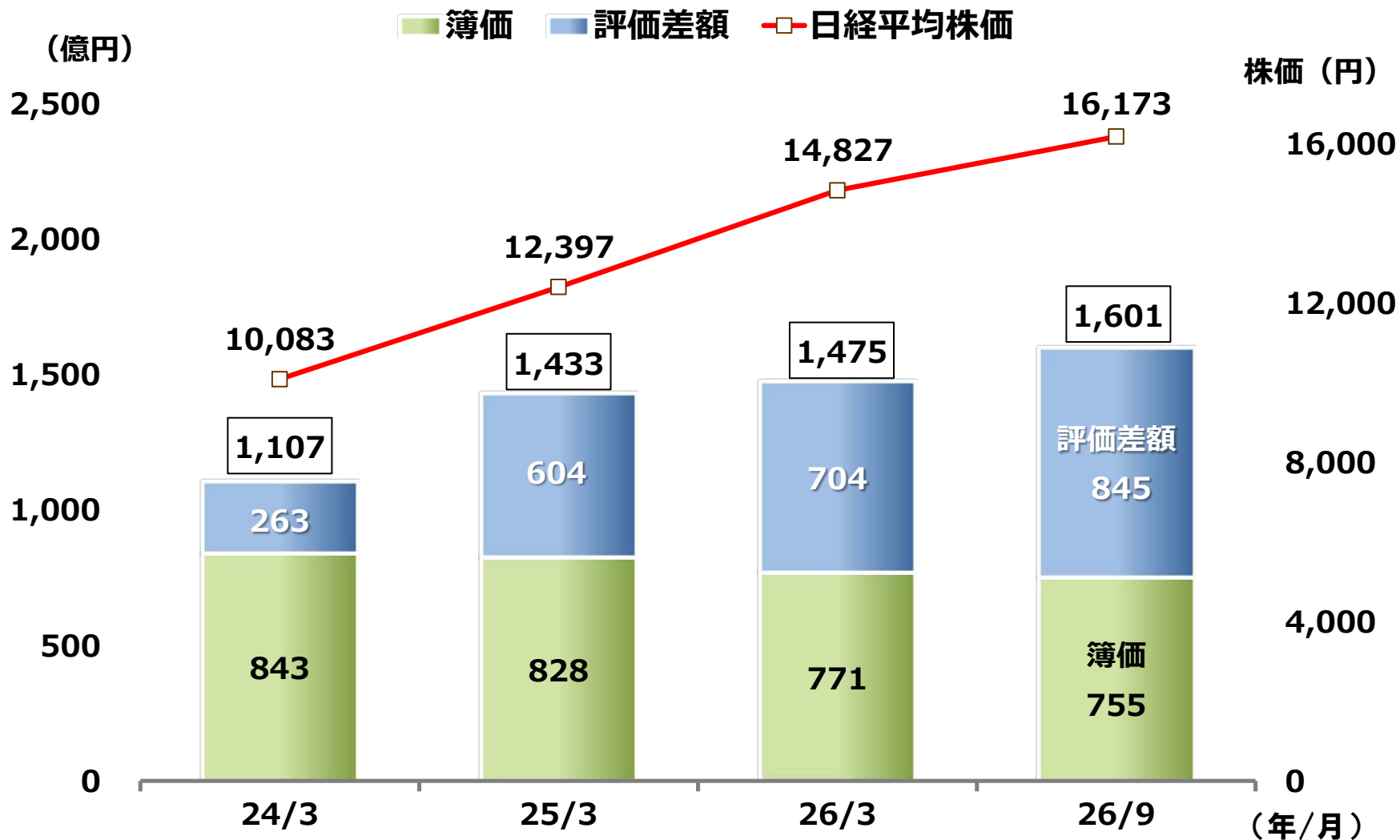


29.1%

自己資本比率

33.7%

# 【連結】投資有価証券の推移

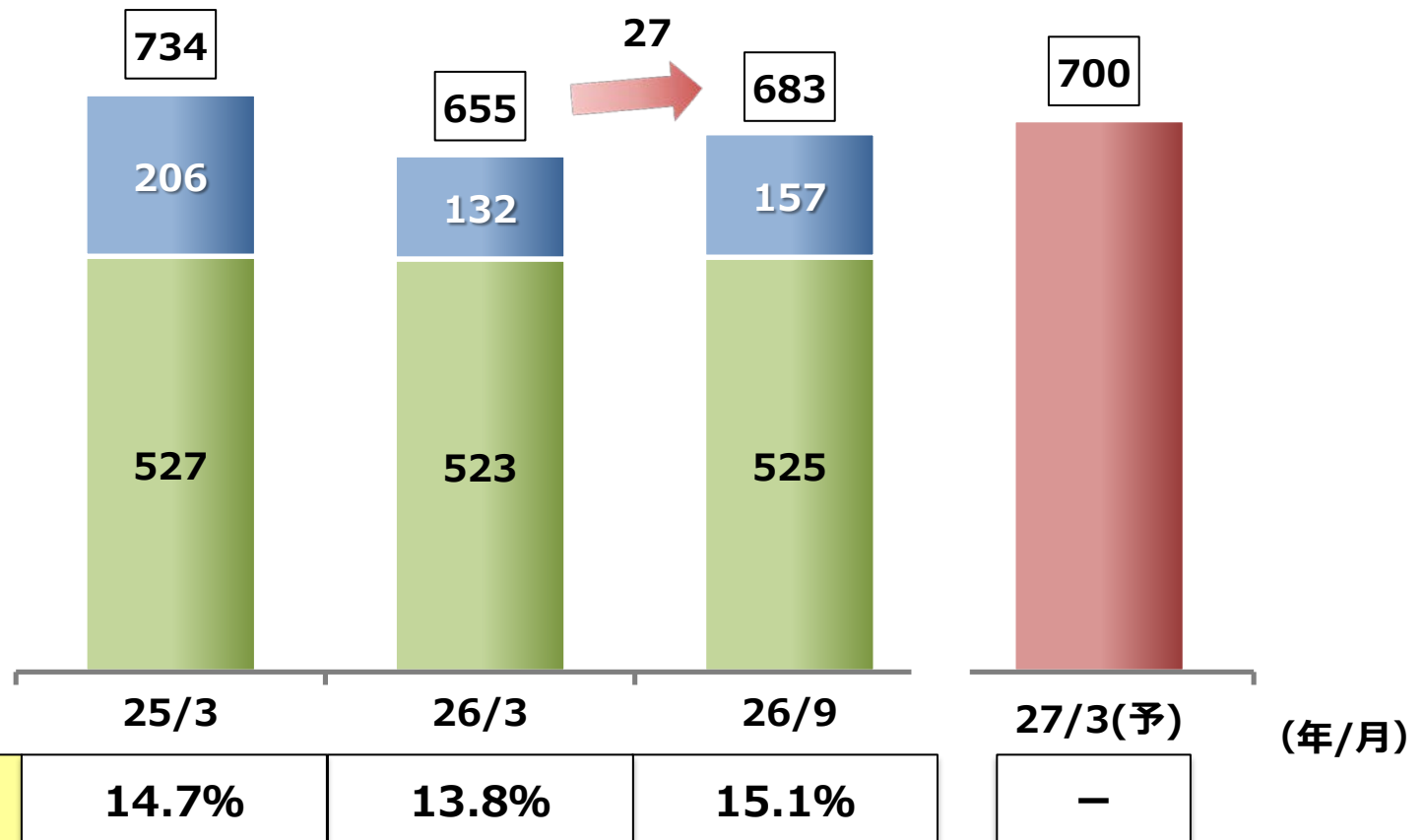


# 【連結】有利子負債の推移

■ 短期

■ 長期

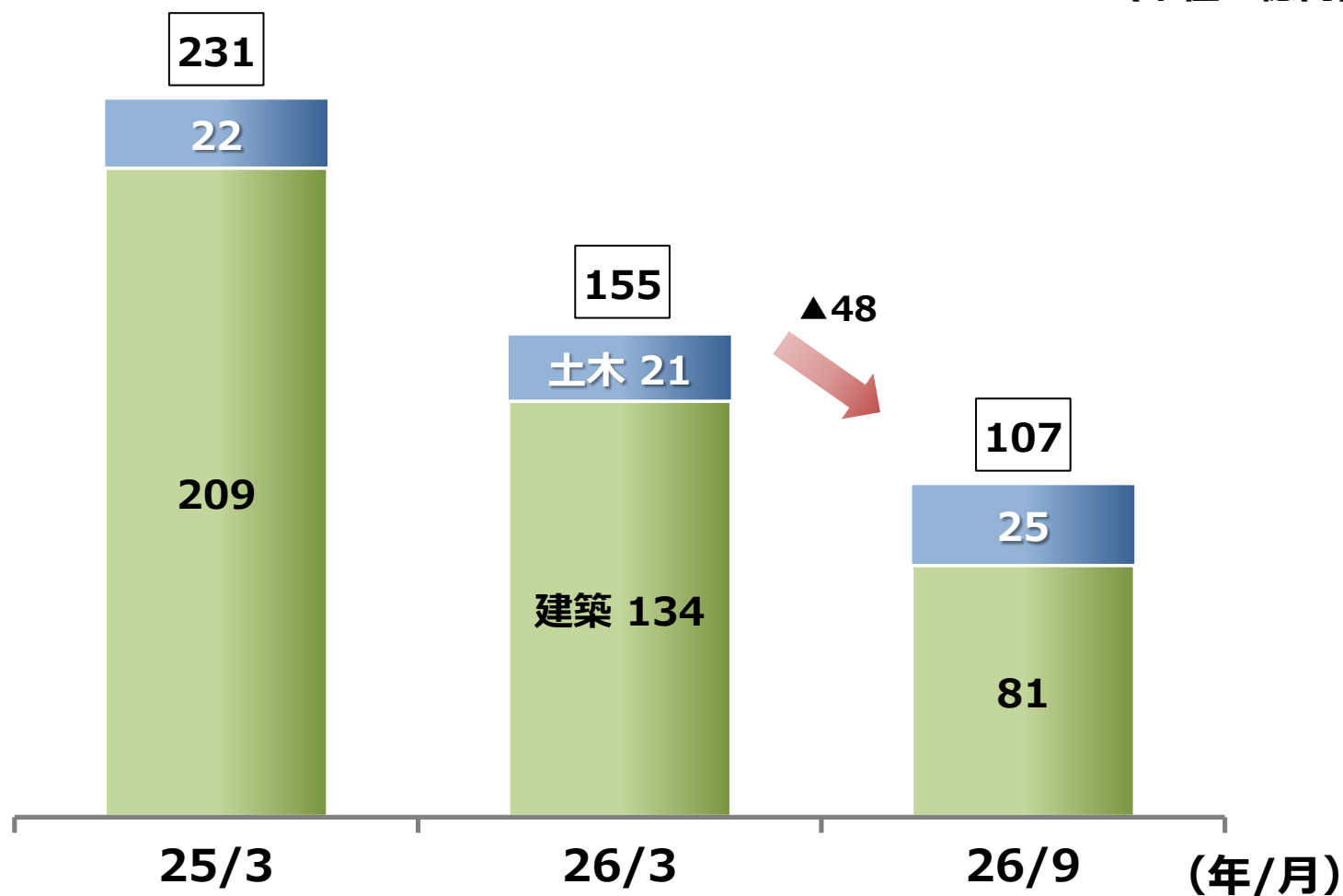
(単位：億円)



# 【連結】工事損失引当金の推移

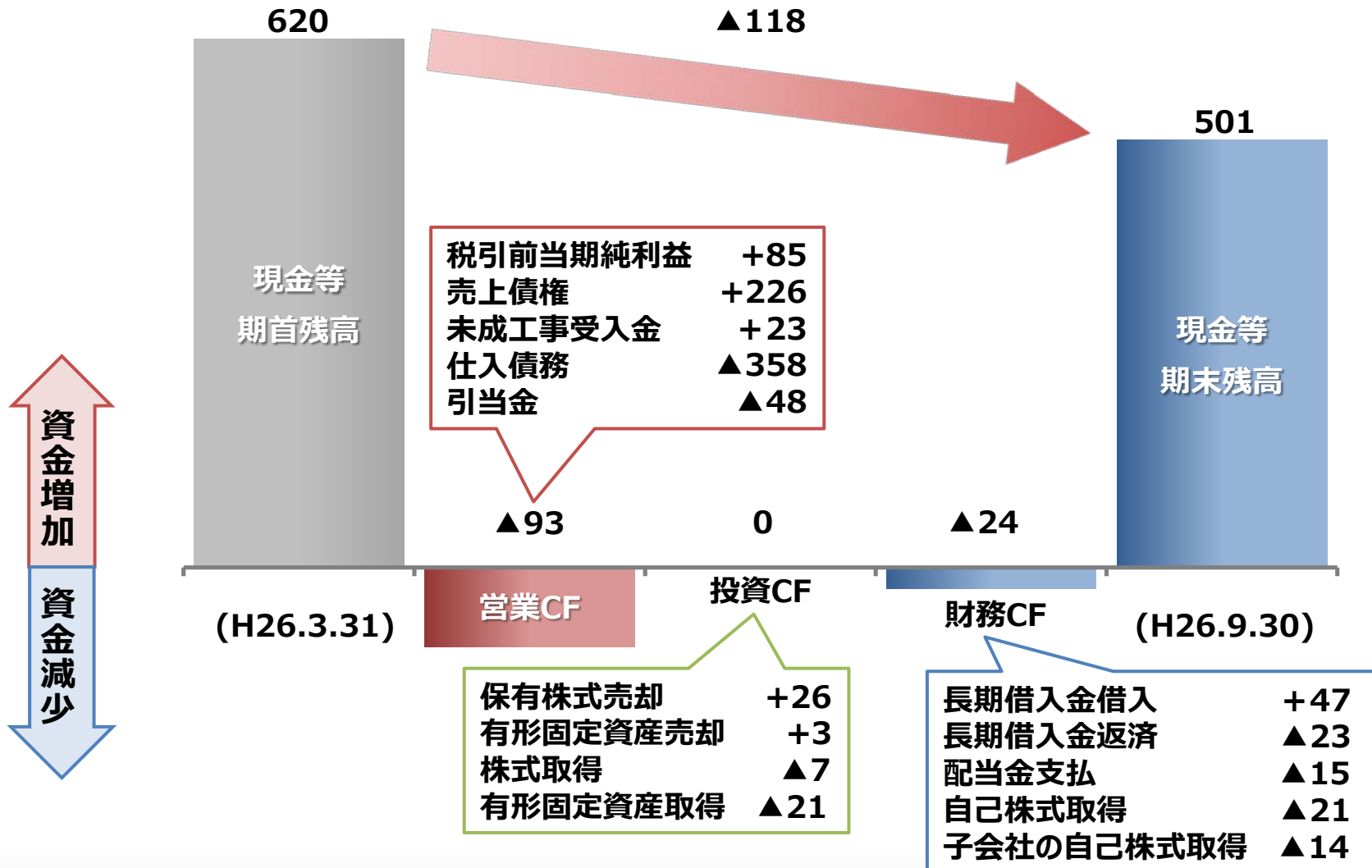
■ 建築 ■ 土木

(単位：億円)



# 【連結】キャッシュ・フロー

(単位：億円)



# 1-3. 業績予測



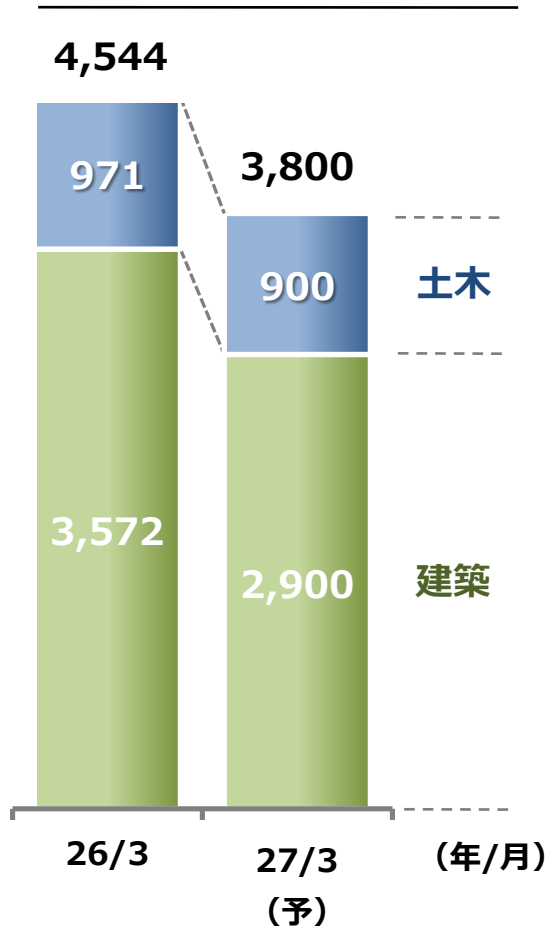
# 平成27年3月期 決算予測

単位：億円	26/3期	27/3期		
		予 測	前期との差	
連結売上高	4,489	4,130	▲8.0%	▲360
営業利益	47	87	81.9%	39
経常利益	65	103	56.4%	37
当期純利益	102	105	2.7%	3
建設受注高（個別）	4,544	3,800	▲16.4%	▲744

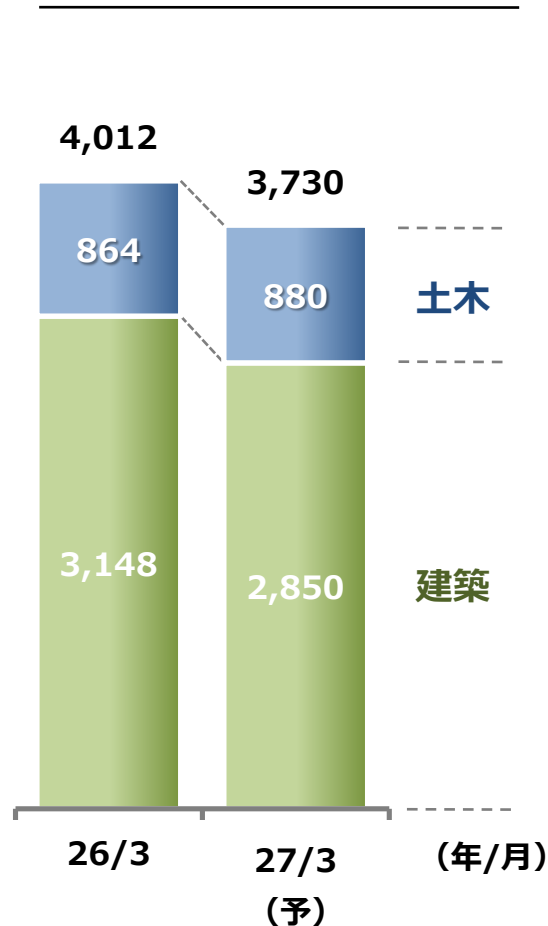
# 【個別】建設事業の業績予測

(単位：億円)

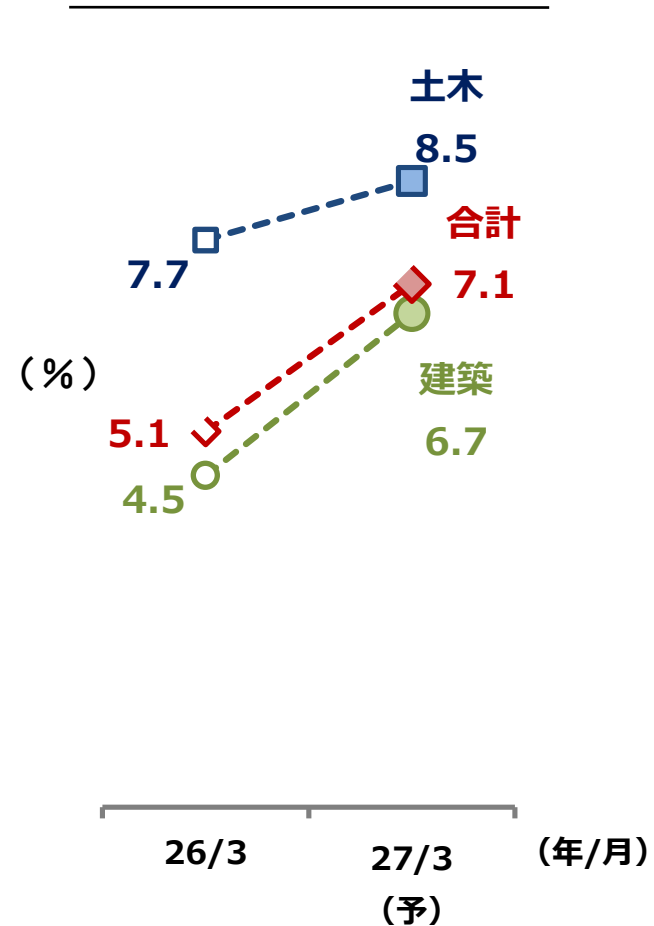
## 建設受注高



## 完成工事高



## 完成工事利益率





# 平成27年3月期 個別業績の予測

	金額 (億円)	利益率 (%)	
売上高	3,780		
売上総利益	283	7.5	
建設事業 利益	265	7.1	
(建築)	(190)	(6.7)	
(土木)	(75)	(8.5)	
不動産事業等 利益	18	36.0	
一般管理費	205		
営業利益	78	2.1	
経常利益	92	2.4	
特別損益	▲1		
当期純利益	92	2.4	

## 2. 経営計画の進捗状況

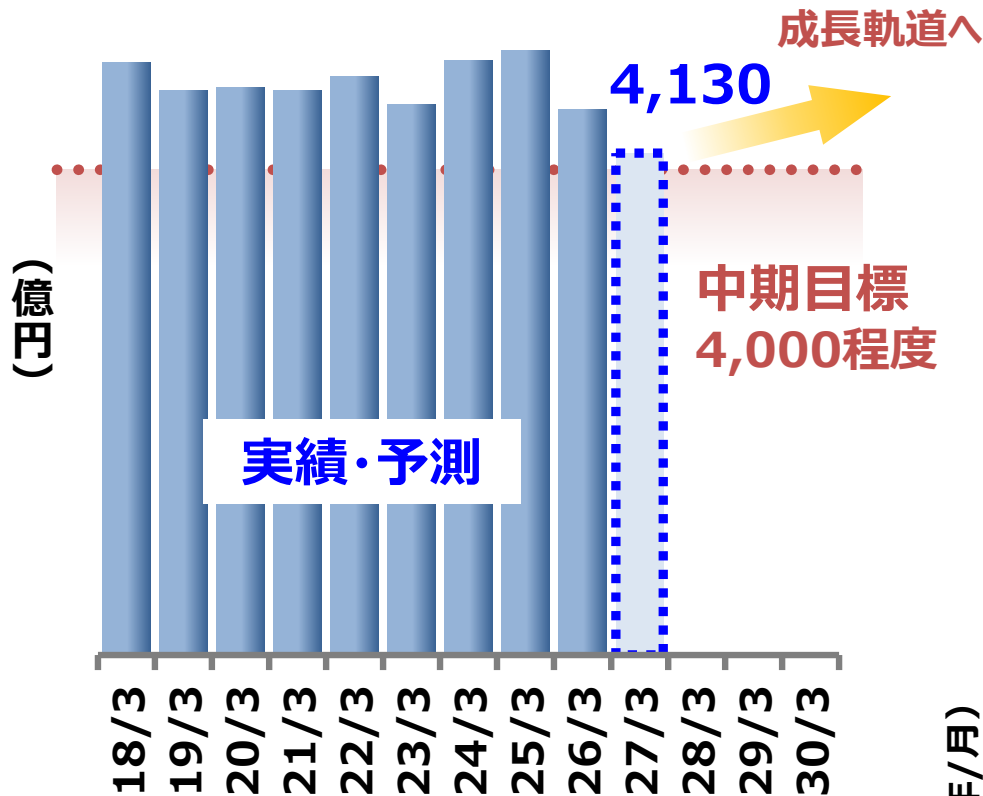
---

代表取締役社長 今井 雅則

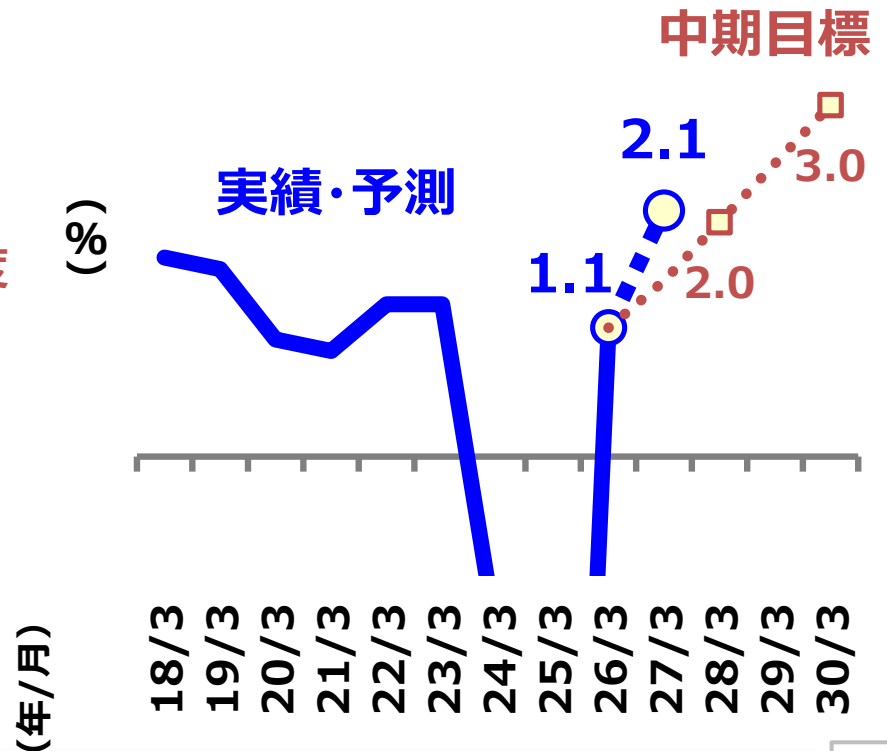
# 業績の推移

## 生産性・収益性を高め、持続的成長を目指す

### 連結売上高



### 営業利益率



# 経営戦略ロードマップ

25/3期	26/3期	27/3期	28/3期	29/3期	30/3期
-------	-------	-------	-------	-------	-------

課題洗い出し 黒字化必達 **プロセス見直し** **利益安定化** **成長軌道へ** **加速**

改善施策の徹底

黒字化

受注決裁・モニタリングの強化

機構改革

価値創造推進室  
海外事業部  
投資開発プロジェクト室  
グループ統括室  
戸田ビルパートナーズ(株)

1

営業戦略の見直し

(地域性、ターゲット、提供価値)

支店経営  
の安定化

2

業務改革、ICTの再構築

業務刷新

3

戦略分野の強化

(海外、投資開発、環境・エネルギー、グループ会社)

収益化

資金の安定化  
保有資産の見直し

工事金立替、不動産開発等に対する資金確保

意識改革

人財育成の見直し

(教育体系、経営幹部育成等)

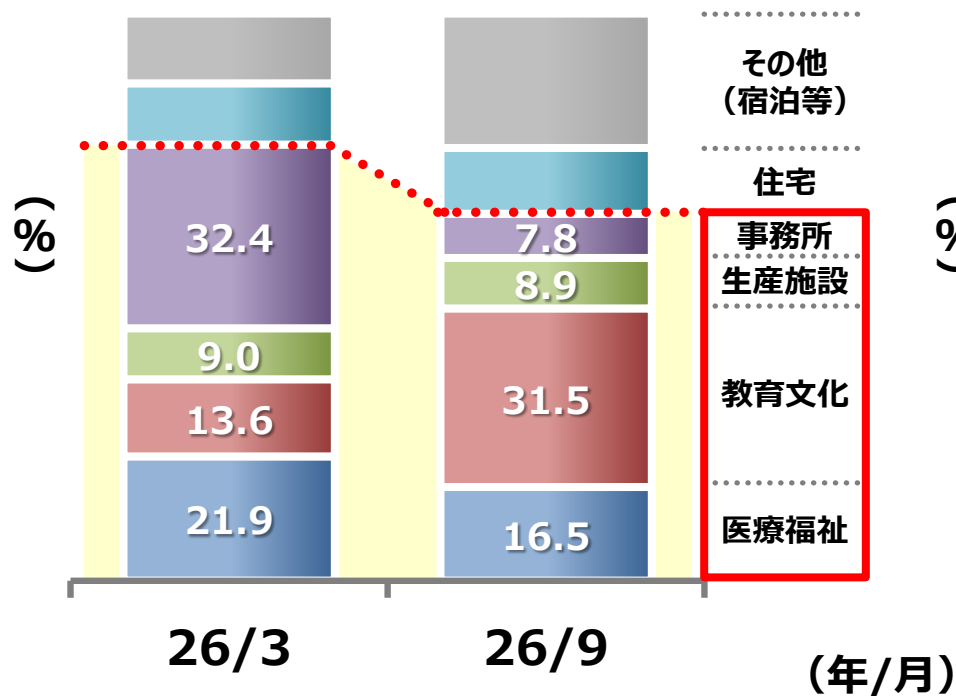
自己発働型  
社員の輩出

営業  
利益率  
3%

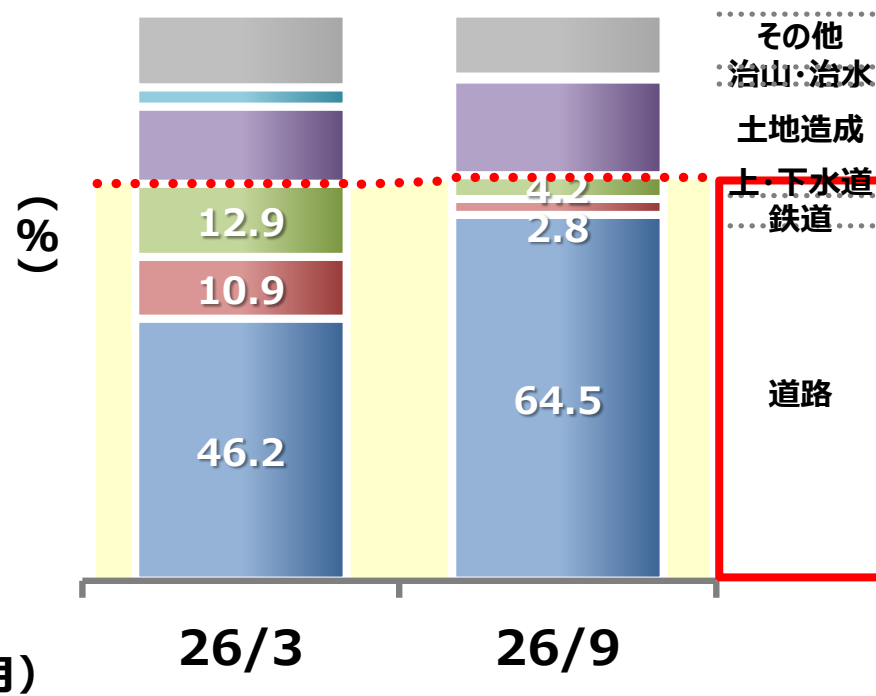
# 受注構成比率（個別）

重点分野に加え、宿泊施設、土地造成等が増加  
各地域の投資動向と当社の強みを再検証

## 建築（工事種類別）



## 土木（工事種類別）



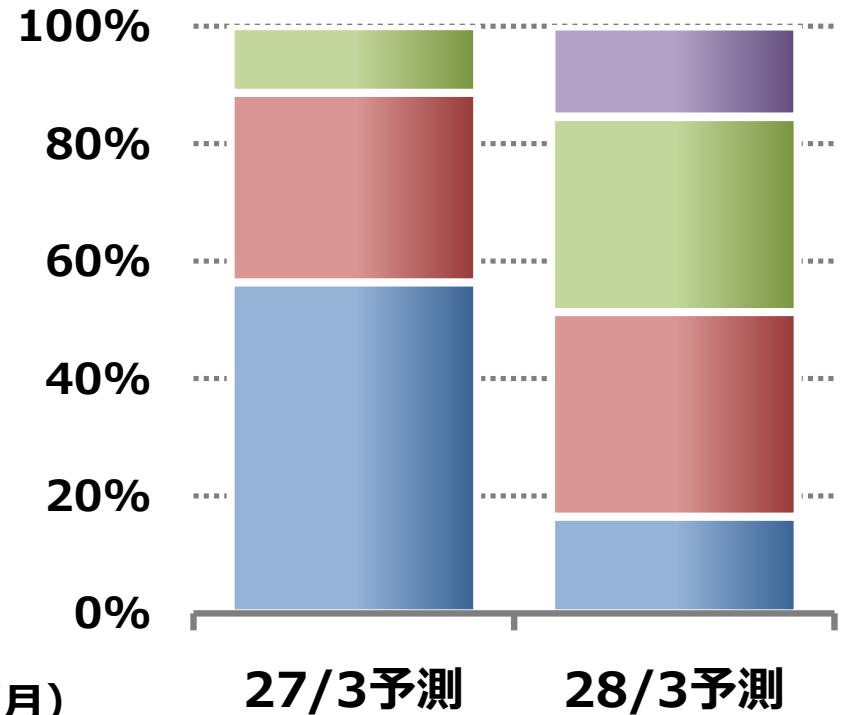
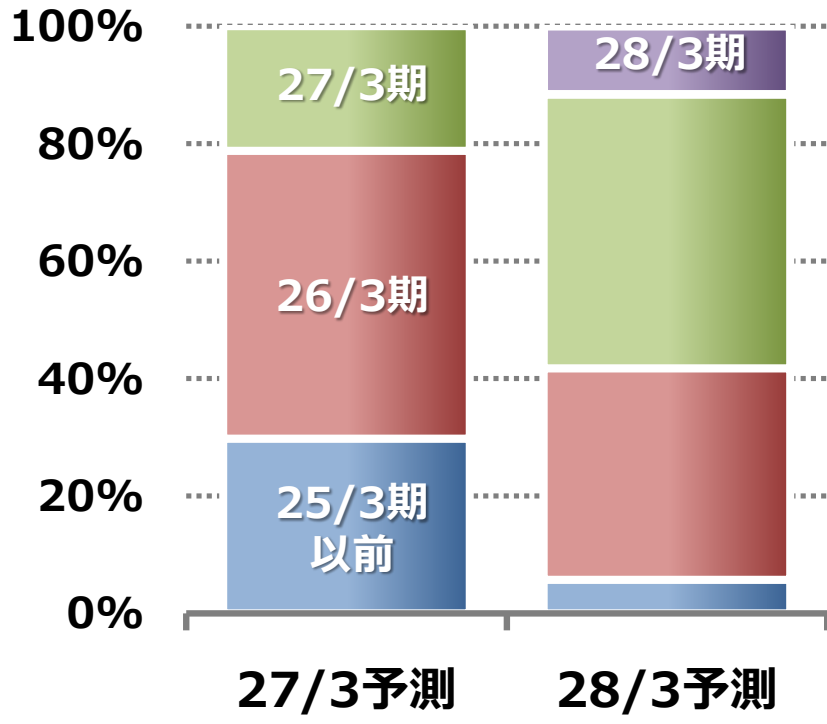
※  は重点分野

# 完工構成比率（個別・予測）

**建築の大型・不採算工事はほぼ一掃**  
 （25/3期以前の受注工事）

建築完工高（受注期別）

土木完工高（受注期別）



# 首都圏土木支店の設置（予定）

## 市場性と合理性を追求する新たな支店体制を確立

※平成27年4月の設立に向けて詳細検討中

東京支店 土木部門

管轄：東京都、千葉県、山梨県

横浜支店 土木部門

管轄：神奈川県、静岡県の一部

## 首都圏土木支店

設置  
目的

営業・施工の合理化  
大型案件への取り組み  
人財育成

# 業務改革の進捗状況

## 業務改革委員会を設置、活動をスタート

### 業務プロセスの見直し

本社を中心とした第1グループが、先行的に業務可視化活動を実施。

今後、中規模支店に活動を拡大し、業務標準化を図る。

### ICTの再構築

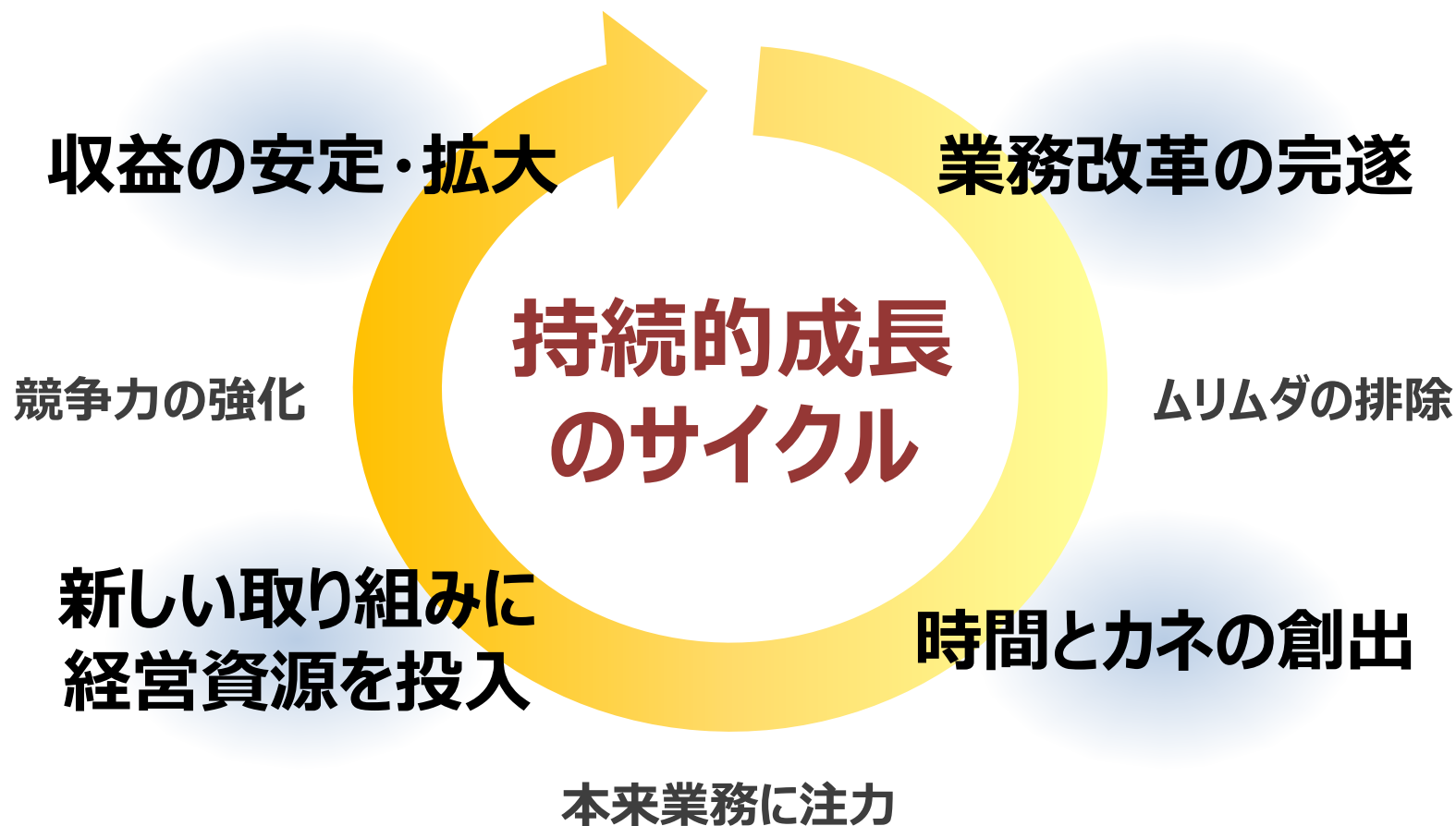
ICT中期計画（投資、グラウンドデザイン）を立案。システム全体設計に着手。

ワークフロー、情報共有ツール等、一部先行的に稼働。



# 業務改革の目指す姿

業務改革の成果を次の成長に結び付ける

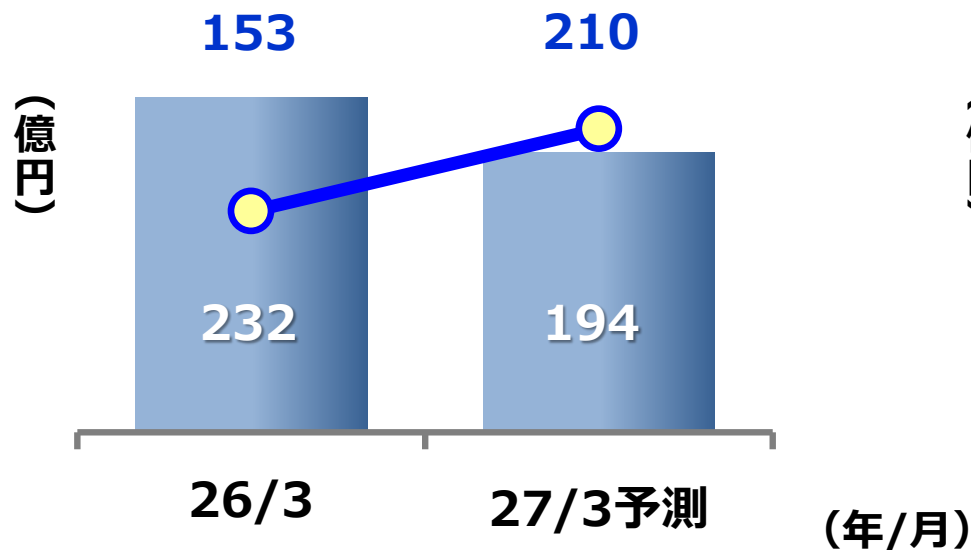


# 海外事業・不動産事業 業績予測

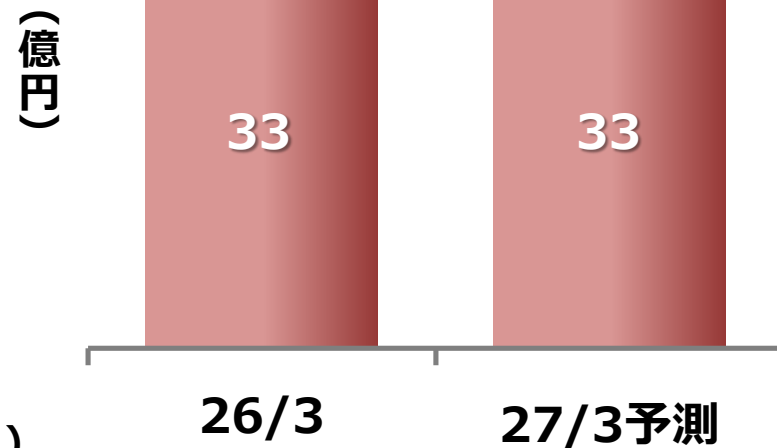
## 海外事業部による中期戦略を強化

### 海外建設売上高（連結）

折れ線は受注高



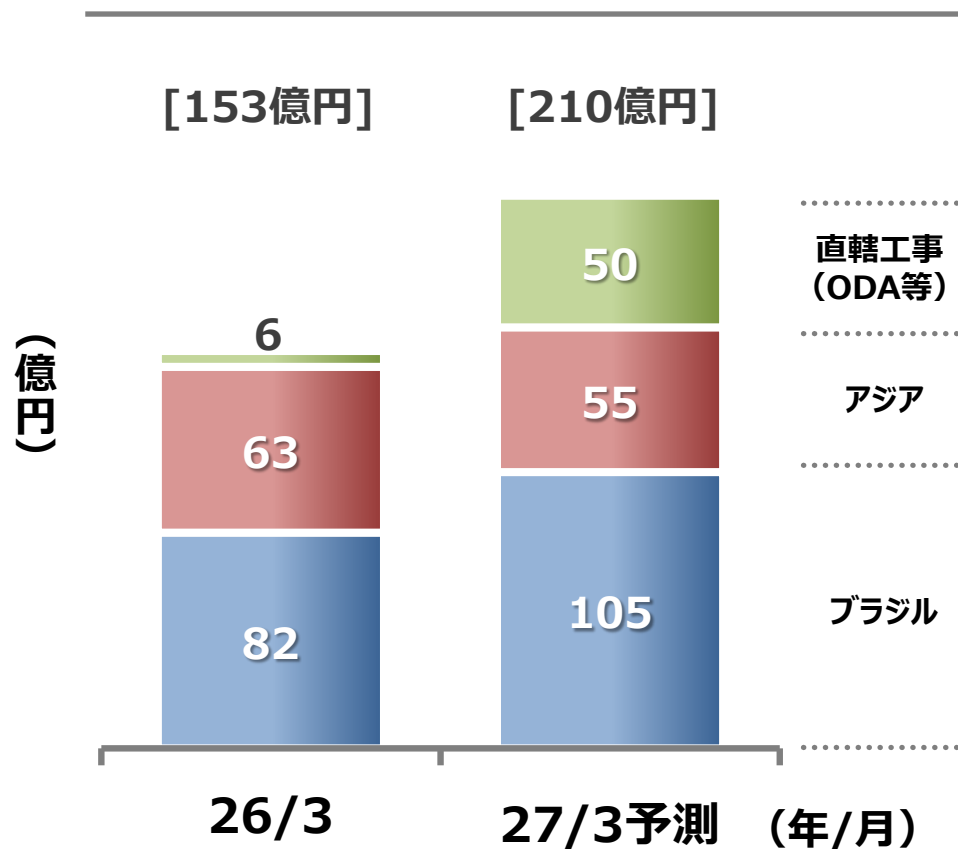
### 不動産等利益（連結）



※ 27/3予測レート：1US\$ = 103.0円

# 海外事業 地域戦略

## 海外建設受注高（地域別）



※ アジア：中国、タイ、ベトナム、フィリピン

### [ブラジル]

日系・非日系企業から生産施設を堅調に受注。

### [アジア]

ミャンマー（ヤンゴン）に営業所を設置。※平成27年7月末に開所

### [直轄工事]

スリランカで上水道施設工事（ADB借款、JV総額約50億円）を受注。※現在手続中

土木の海外再進出工事と位置付け、推進。

# 下半期に向けた基本認識（建設事業）

**建築** 順調な受注状況（目標達成率55%）の中でも、地域によって状況にバラつきが見られる。

**土木** 外環道等の大型工事を受注。利益水準（今期予測8.5%）の更なる向上に注力。

**対顧客価値による差別化の推進**

**施工体制の強化、生産性への取り組み**

**次期受注案件のつくり込み**

人がつくる。人でつくる。



— 価値ある戸田建設 —